

えほんだいすき！

— 図書館がすすめる2～3歳の本 —



アンガスとあひる

マージョリー・フラック／作・絵 瀬田貞二／訳 福音館書店 E903.6フ

アンガスは、知りたがりやの子犬です。庭のいけがきの向こうから聞こえてくる「ガー、ガー、ゲック、ガー！」というやかましい音の正体を知りたくて、向こう側に行ってみました。すると、そこにいたのは二ひきの白いあひるでした。



いたずらねこ

バーナディン・クック／文 レミイ・シャーリップ／絵

まさきりこ／訳 福音館書店 E903.6シ

小さな子ねこは、まだカメをみたことがありませんでした。ある日、隣の小さな池に住んでいる小さなカメに出会った子ねこは、前足でポン！とたたいてみました。すると、びっくり！かめの首がこうらの中にひっこんでしまったのです。



おおきなかぶ ロシア民話

A.トルストイ／再話 佐藤忠良／画 内田莉莎子／訳 福音館書店

E903.6サ

おじいさんが植えたかぶが、大きく大きくなりました。おじいさん一人では抜けずに、おばあさん呼び、おばあさんは孫を呼び…。「うんとこしょどっこいしょ」みんなで一緒にひっぱります。



おだんごぱん ロシア民話

瀬田貞二／訳 脇田和／絵 福音館書店 E903.6ワ

おばあさんが粉箱をごしごしかいて、粉を集めてほかほかのおだんごぱんを焼きました。窓のところで冷やされていたおだんごぱんは、ころころ転げて逃げてしまいました。途中で動物たちにつかまりそうになりますが、歌をうたって逃げ出します。ところが最後にキツネに会ったおだんごぱんは…。

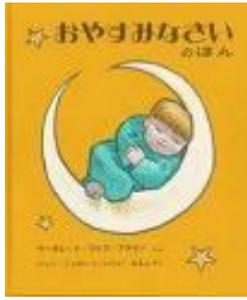


おやすみなさいおつきさま

マーガレット・ワイズ・ブラウン／作 クレメント・ハード／絵

せたていじ／訳 評論社 E903.6ハ

大きな緑のお部屋の中。窓の外には星が輝いています。こうさぎはベッドに入ります。「おやすみおへや おやすみおつきさま」こうさぎは、みんなに語りかけて眠りにつきます。



おやすみなさいのほん

マーガレット・W・ブラウン／文 ジャン・シャロー／絵
石井桃子／訳 福音館書店 E903.6 シ

夜になりました。小鳥たちは頭を翼の下に隠して眠ります。魚たちも野原のヒツジたちも眠ります。自動車やトラックや飛行機も、ガレージや格納庫に入って静かになります。子どもたちは布団に入って眠ります。



ぐりとぐら

中川李枝子／文 大村百合子／絵 福音館書店 E903.6 オ

のねずみのぐりとぐらは、お料理することと食べることが大好き。二ひきが森に出かけると、大きな卵が落ちていました。卵とお砂糖をかき混ぜて、牛乳と小麦粉も入れて、二ひきが作ったふんわりとしたおいしいものは…。



こすずめのぼうけん

ルース・エインズワース／作 堀内誠一／画 石井桃子／訳 福音館書店
E903.6 ホ

飛び方を覚えたばかりのこすずめが迷子になってしまいました。疲れたこすずめは、休ませてもらおうとして他の鳥たちに頼みますが、どの鳥も自分とは鳴き声が違うからと巣に入れてくれません。



三びきのやぎのからがらどん 北欧民話

マーシャ・ブラウン／絵 瀬田貞二／訳 福音館書店 E903.6 ブ

むかし、三びきのやぎが草を食べて太ろうと、山へ登って行きました。ところが途中の谷川にかかっている橋の下には、大きなトロルが住んでいて、やぎをひとのみにしようと待ち構えていました。



しろくまちゃんのほっとけーき

わかやまけん／作 こぐま社 E903.6 ツ

しろくまちゃんはお母さんと一緒にホットケーキを作ります。「ぼたあん どろどろ ぴちぴち ぷつぷつ やけたかな」おいしそうなホットケーキが出来ました。お友だちのこぐまちゃんを呼んで、いただきます。



せきたんやのくまさん

フィービとセルピ・ウォージントン／作・絵 石井桃子／訳
福音館書店 E903.6 ウ

せきたんやのくまさんは、朝早く起きてごはんを食べると石炭を売りに出かけます。荷馬車に石炭を積んで家いえを回ります。1ふくろ 100 えん！せきたんやのくまさんの一日のお話です。シリーズは他に3冊。



そうくんのさんぽ

なかのひろたか／作・絵 なかのまさたか／レタリング

福音館書店 E903.6 ナ

今日はいいお天気です。そうくんはごきげんで散歩に出かけました。途中で会ったかばくんやわにくんを散歩に誘うと、みんな背中に乗せてと言い出します。



ちいさなねこ

石井桃子／作 横内襄／絵 福音館書店 E903.6 ヨ

小さなねこが、お母さんねこに内緒で一人で出かけました。子どもにつかまりそうになったり、道を渡って自動車にひかれそうになったり、大きな犬に追いかけられたり…。でも大丈夫。お母さんねこが助けに来てくれました。



ティッチ

パット・ハッチンス／文・絵 石井桃子／訳 福音館書店 E903.6 ハ

ティッチのお兄さんとお姉さんは、いつもいいものを持っています。お兄さんは大きなシャベル、お姉さんは大きな植木鉢。でもティッチが持っていたのは小さな種でした。

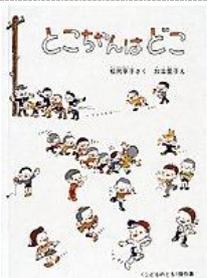


てぶくろ ウクライナ民話

エウゲーニー・M・ラチョフ／絵 内田莉莎子／訳

福音館書店 E903.6 ラ

おじいさんが、森で手袋を片方落として行ってしまいました。それを見つけたねずみが、てぶくろの中で暮らすことにしました。そこへかえるがやって来て、てぶくろは二ひきの家になりました。てぶくろには、まだまだたくさんの動物がやってきます。



とこちゃんはどこ

松岡享子／文 加古里子／絵 福音館書店 E903.6 カ

赤い帽子のとこちゃんは、元気な男の子。すぐにどこかへ行ってしまいます。動物園、海へ、お祭りの人ごみ…。赤い帽子をかぶったとこちゃんはどこでしょう？



ねずみのいえさがし ねずみのほん1

ヘレン・ピアス／作 松岡享子／訳 童話屋 E903.6 ピ

ねずみが家を探しています。寒すぎない、暑すぎない、広すぎない、狭すぎない、やかましすぎない、ぬれてもいけない、汚くもない、そんな家はなかなか見つかりません。シリーズは他に2冊。



はけたよはけたよ

神沢利子／文 西巻茅子／絵 偕成社 E903.6グ

たつくんは一人でパンツがはけません。パンツをはこうと片足を上げると、ふらふら、どでん！そこで、パンツをはかずに外に出たら、動物たちがやってきて、おしりをじろじろ。みんなに笑われてしまいました。



はなをくんくん

ルース・クラウドス／文 マーク・シーモント／絵 木島始／訳

福音館書店 E903.6シ

雪が静かに降っています。動物たちは、すやすや寝ています。ところが、おや？みんなが目を覚まして、鼻をくんくんしながら駆け出しました。みんなが駆けて行った先にあったのは…？



ももたろう

松居直／文 赤羽末吉／画 福音館書店 E903.6ア

桃から生まれた桃太郎は、賢くて力持ち。犬とサルとキジをお供にして、鬼が島へ鬼退治に出かけました。鬼を退治した桃太郎はお姫さまを助け出して、おじいさん、おばあさんといつまでも幸せに暮らしました。



もりのなか

マリー・ホール・エッツ／文・絵 まさきりこ／訳

福音館書店 E903.6工

紙の帽子をかぶったぼくは、新しいラッパを吹きながら森へ散歩に出かけました。すると、森の中で出会った動物たちが次々ついてきたので、みんなで行進したりおやつを食べて遊びました。そして最後にかくれんぼをしたら…。



ゆかいなかえる

E903.6キ

ジュリエット・ケペシュ／文・絵 石井桃子／訳 福音館書店

4つの卵から、4ひきのおたまじゃくしが生まれました。やがて足が生えてきて4ひきのかえるになりました。かえるたちは泳いだり遊んだり、お腹がすいたらトンボの卵と水草でおいしいごはんを食べました。



わたしのワンピース

西巻茅子／文・絵 こぐま社 E903.6二

空から落ちてきた真っ白な布で作ったワンピース。お花畑を散歩したら、ワンピースが花模様になりました。雨が降ったら水玉模様、草の実の中を歩いたら草の実模様のワンピースになりました。すると小鳥が草の実を食べに飛んできて…。